

令和 8 年度 佐賀県立名護屋城博物館協議会



令和 8 年 8 月 6 日

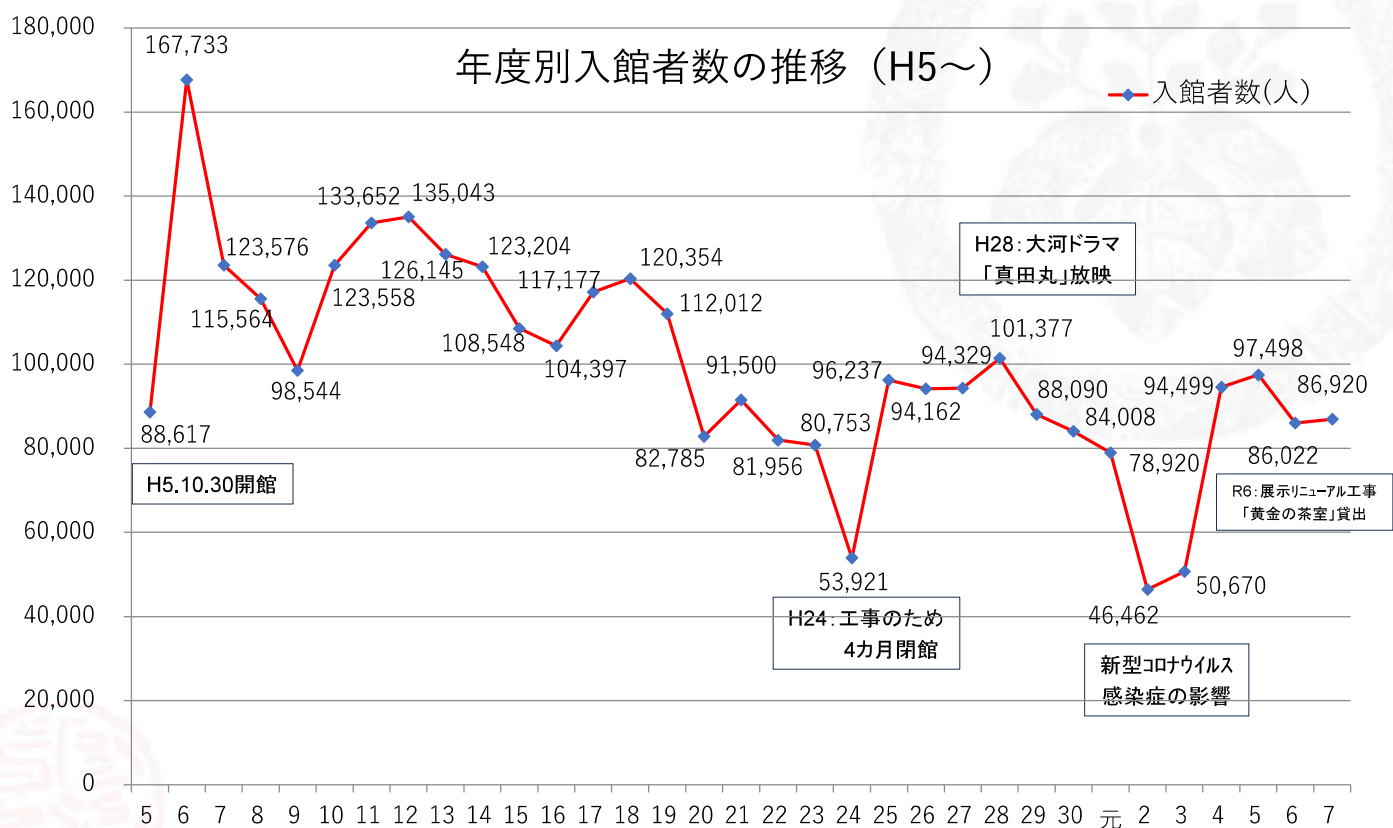
1

目 次

I	博物館の管理運営	3
(1)	入館者動向等	3
(2)	企画展示等	6
II	特別史跡名護屋城跡並陣跡の調査・整備・ 保存・教育普及	10
(1)	第 5 期保存整備事業計画	17
(2)	整備状況等	18

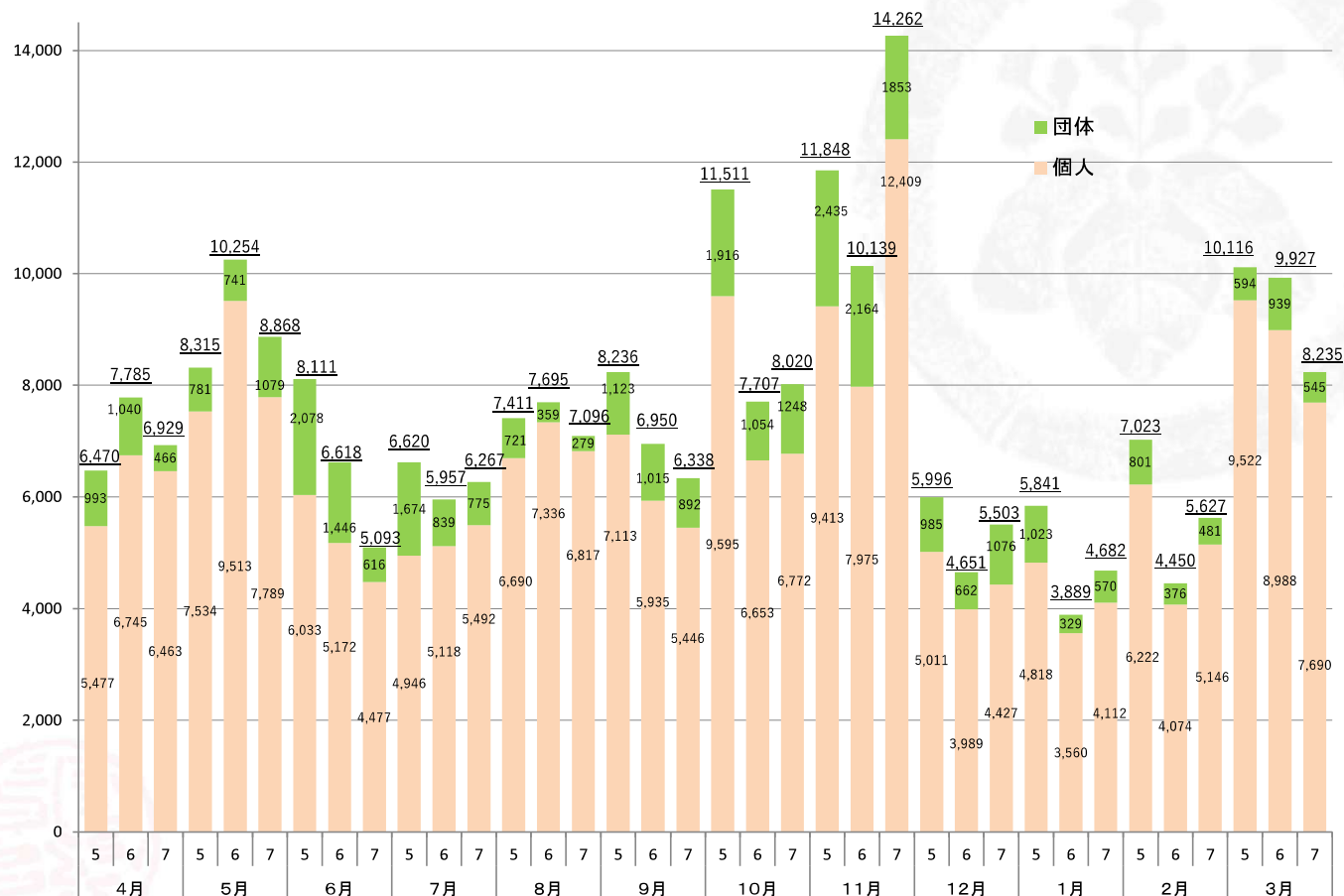
2

I 博物館の管理運営 (1) 入館者動向



3

月別入館者数グラフ (R5～R7)



4

年度別外国人来館者数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
全入館者数(A)	101,341	88,090	84,008	78,920	46,462	50,670	94,499	97,498	86,022	86,920
外国人来館者数(B)	3,756	5,403	4,832	2,325	78	41	1,401	4,286	3,007	3,983
うち韓国	3,204	4,719	4,293	1,757	11	9	1,110	3,680	2,291	3,111
外国人の割合(B/A)	3.71%	6.13%	5.75%	2.95%	0.17%	0.08%	1.48%	4.40%	3.50%	4.58%

年度別外国人来館者数の内訳

在住国	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
韓国(A)	3,204	4,719	4,293	1,757	11	9	1,110	3,680	2,291	3,111
台湾	43	118	65	138	0	0	1	65	111	245
中国	196	288	200	203	1	2	40	195	182	218
欧米	96	95	115	114	54	14	59	241	236	299
その他	217	183	159	113	12	16	191	105	187	110
計(B)	3,756	5,403	4,832	2,325	78	41	1,401	4,286	3,007	3,983
韓国の割合(A/B)	85.3%	87.3%	88.8%	75.6%	14.1%	22.0%	79.2%	85.9%	76.2%	78.1%

令和8年度 企画普及事業

〔Ⅰ〕 展示活動

- ・ 名護屋城博物館コレクション展2026 3月20日(金)～ 5月10日(日)
- ・ テーマ展 ようこそ！韓国伝統工芸の世界へⅡ 7月10日(金)～ 8月30日(日)
- ・ 史跡指定100周年記念企画展 名護屋城趾竝陣趾 10月 9日(金)～11月29日(日)
- ・ テーマ展 没後370年記念 洪浩然の書 12月18日(金)～ 2月14日(日)
- ・ テーマ展 近代観光と絵はがき 3月19日(金)～ 5月 9日(日)

〔Ⅱ〕 教育普及活動、国際学術・文化交流事業

特別史跡「名護屋城跡並陣跡」史跡探訪会 5月24日(日)
 なごや歴史講座 6月～3月 計9回
 韓国語講座 前・後期 (計22回予定:土曜日開催)
 韓国語スピーチコンテスト 10月25(日)

など



5/24史跡探訪会

令和8年度 展示活動

①名護屋城博物館 コレクション展2026

3月20日(金)～5月10日(日)

期間中の来館者数:16,311人

新規収蔵資料とともに、当館の
コレクションを紹介。



②テーマ展 ようこそ！ 韓国伝統工芸の世界へⅡ

—誰が、どこで、どう使う—

7月10日(金)～8月30日(日)

期間中の入館者数:5,005人(7/25時点)

所蔵する韓国の伝統工芸資料から、特に
朝鮮時代の家具や生活道具などを紹介。



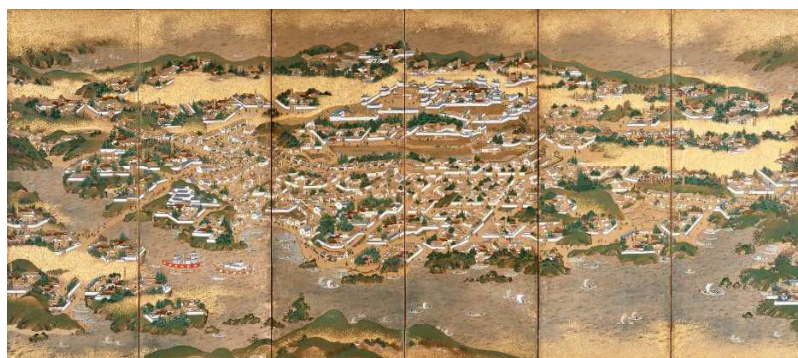
7

令和8年度 展示活動

③史跡指定100周年記念企画展 名護屋城跡並陣跡

10月9日(金)～11月29日(日)

名護屋城や大名陣に関する資料と
ともに、50年にわたる保存整備事業の
成果を展示。



肥前名護屋城図屏風(群馬本) 個人蔵

右:(国宝)
壬申測量日記
【伊能忠敬関係資料】
伊能忠敬記念館蔵



上:金箔桐文飾瓦 館蔵
右:内務省告示 佐賀県蔵



10月11日(日)

記念講演会

「史蹟指定百年・

特別史跡名護屋城跡と陣跡の価値」(仮)

講師:服部英雄氏(九州大学名誉教授)

会場:名護屋城博物館ホール



11/22(日)

第6回名護屋城大茶会

大型誘客イベント。
城跡や陣跡のガイド、
企画展ギャラリートーク等を実施。

8

令和8年度 展示活動

④テーマ展

没後370年記念 洪浩然の書

12月18日(金)～R9年2月14日(日)

文禄の役で捉えられ、佐賀藩士として生きた洪浩然が遺した書作品を紹介。



洪浩然筆 五言律詩二首屏風 館蔵

⑤テーマ展

近代観光と絵はがき

3月19日(金)～5月9日(日)

20世紀前半、人びとの間で観光という文化が広まった時代を資料を通じて紹介。



絵はがき「(唐津松浦湯)名護屋城址」 館蔵

9

教育普及活動

○特別史跡「名護屋城跡並陣跡」 史跡探訪会

令和8年5月24日(日)

参加者数 124人

探訪場所 豊臣秀保陣跡・串道



○なごや歴史講座

学芸員による一般向けの講座(全9回)

令和7年度参加者数:計501人(平均55.7人)

【R8年度のテーマ例】

- ▶お城の御殿を発掘する
一名護屋城本丸御殿から佐賀城本丸御殿まで一
- ▶古文書にみる名護屋城と大名陣
- ▶肥前名護屋の豊臣秀保陣跡



○出前講座

公民館の市民講座や学校の授業等に学芸員

が出向き講師を務める。 ※令和7年度実績:出張回数15回、対象者569人

10

教育普及活動

○第21回韓国語スピーチコンテストinなごや

- ◆ 10月25日(日) 午後
- ◆ スキット部門、スピーチ部門
- ◆ 副賞には、カメラライン往復ペアチケットなど
- ◆ 第20回実績:参加者数75名(うち出場者25名)



○バーチャル名護屋城

- ◆ 再現CGを現地で見る事ができるアプリの供用やタブレット端末の貸出。
(平成27年4月～)
- ◆ 名護屋城跡では、タブレット端末を活用したガイドツアーも実施。
(ツアー実施:肥前名護屋城歴史ツーリズム協議会)
- ◆ 令和6年2月から博物館受付でのチェックインを廃止し、現地でアプリ起動が可能に。
(廃止前と比して利用が増加している)



11

《博学協働》

○唐津青翔高校との博学協働授業 「日韓交流史」

- ◆ 2年生を対象に、毎週木曜日・通年実施。
- ◆ 平成18年度からスタート。(令和8年度: 13名/21期生)
- ◆ フィールドワーク(現地見学)や発掘調査体験、韓国文化学習などを予定



○唐津市立名護屋小学校

- ◆ 6年生を対象とした「なごやタイム」で学芸員が講師を担当。

12

国際学術・文化交流事業

○韓国語講座

国際交流員による韓国語の講座

《前期》初級 5/30～8/22 全11回 予定

《後期》中級 12月～2月 全11回 予定

R7年度実績:初級 全11回(33名)

中級 全11回(24名)



○名護屋小学校 韓国文化学習

全学年を対象に、国際交流員が講師となり、
韓国文化をテーマとした授業を支援

9月、2月の2回



13

国際学術・文化交流事業

○晋州博物館との交流事業

大韓民国国立晋州博物館との間で締結している
交流協定(平成14年度～)に基づき、展覧会・資料
調査など事業に対して相互協力を行っている。

《令和7年度》

・R8.3.23～26 訪韓調査

(晋州市・釜山広域市・金海市)



○韓国の博物館施設への協力

《資料貸出・調査》※R7年度実績

・梁山市立博物館「朝鮮通信使と梁山」展

・国立海洋遺産研究院

「朝鮮通信使の航海路に残された記録遺産」展

・国立中央博物館「李舜臣」展

・忠清南道歴史文化研究院 小川敬吉資料調査



14

はじまりの名護屋城。プロジェクト

名護屋城跡・陣跡の価値を生かして文化観光の促進に取り組むプロジェクト

県文化課、唐津市肥前名護屋城室と連携して取り組む



○「黄金の茶室」公開（令和4年3月27日～）

「黄金の茶室」体験プログラム

- 「黄金の茶室」での呈茶や学芸員の解説を行う有料プログラム。
- 地元茶道団体、観光協会と連携して実施。

プログラム実施状況(令和7年度)

- ・参加者 49組 75名
- ・出発地 県内 23% 福岡県内 41%
その他 36%(関東、関西など)
- ・満足度 とても良かった 90%
良かった 10%
普通 0%
少し不満・不満 0%
- ・価格設定 ちょうど良い 69%
やや高い 26%

※アンケート結果はR8.1月末時点。参加者数は年度計

広報の強化

令和6～7年度の主な広報活動

- 雑誌『CasaBrutus』出稿
- 日本テレビ「遠くへ行きたい」取材
- KBC「アサデス」取材
- TVQ「たくなる」取材
- Web版「和楽」取材
- 日本経済新聞「黄金」特集記事取材
- TV朝日「博士ちゃん」取材

など

15

はじまりの名護屋城。プロジェクト

名護屋城跡・陣跡の価値を生かして文化観光の促進に取り組むプロジェクト

県文化課、唐津市肥前名護屋城室と連携して取り組む

○草庵茶室の復元公開

豊臣秀吉が名護屋城で使った竹の茶室を令和6年3月に復元公開(エントランスホールで展示中)

茶室の中に入ることが可能(雨天時以外)



○第6回名護屋城大茶会

令和8年11月22(日)

ホールや展示(企画展)、茶室体験プログラム、
城跡案内、前田陣跡での説明会の実施
でイベントと連携



○歴史イベントでのPR

- ▶大阪お城フェス(大阪市) 令和8年 8/8-9
- ▶お城EXPO in 熊本(熊本市) 令和8年 10/3-4
- ▶お城EXPO2026(横浜市) 令和8年 12/19-20



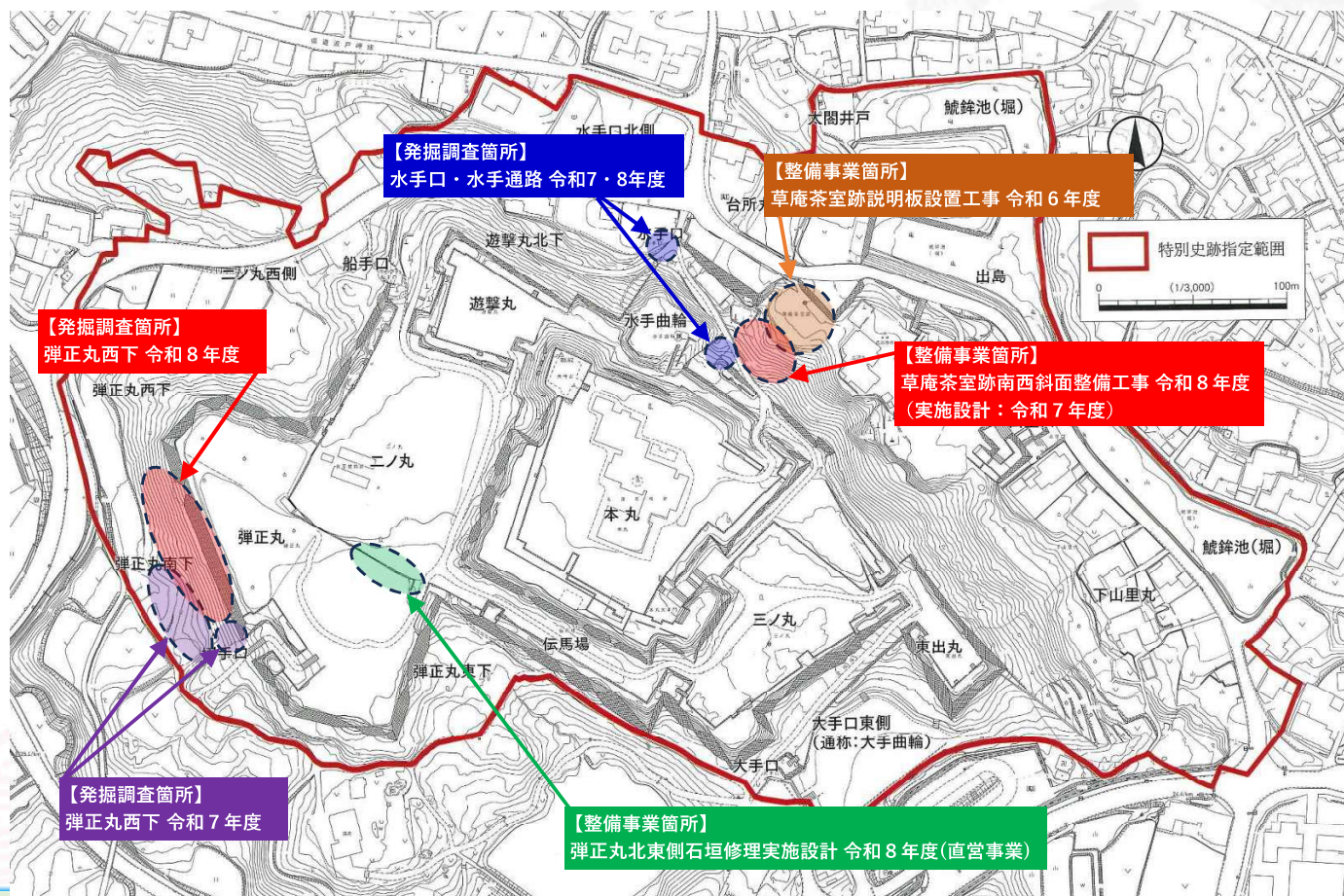
16

第5期保存整備事業計画

第4期保存整備計画（平成25～令和4年度）						第5期保存整備計画（令和5～14年度）									
年 度	30	31・元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
発掘調査	本城跡	弾正丸周辺								船手口西斜面		遊撃丸北下 水手口東側		山里丸斜面地	
		太閤井戸	水手口・水手通路												
	陣跡 (重要陣跡)	島津義弘陣跡				黒田長政陣跡					生駒親正陣跡				
							前田利家陣跡								
保存整備	本城跡	草庵茶室跡・南西斜面路地													
		本丸御殿跡									水手曲輪・本丸北裾・水手通路等				
		本丸北裾				弾正丸石垣						三ノ丸内面石垣			
		【石垣】危険箇所の把握・緊急修理										水手通路・本丸北側石垣			
陣跡	陣跡						前田利家陣跡(原子力共生交付金事業)								
												古田織部陣跡			
事業費（千円）	25,164	23,163	23,212	27,300	25,602	26,952	22,729	31,622	34,938						

(※令和8年度の事業費は、文化庁国庫補助金の事業費認額)

◎令和7・8年度 整備・発掘調査(名護屋城跡)



① 整備(上山里丸草庵茶室跡 修景整備) 令和7・8年度



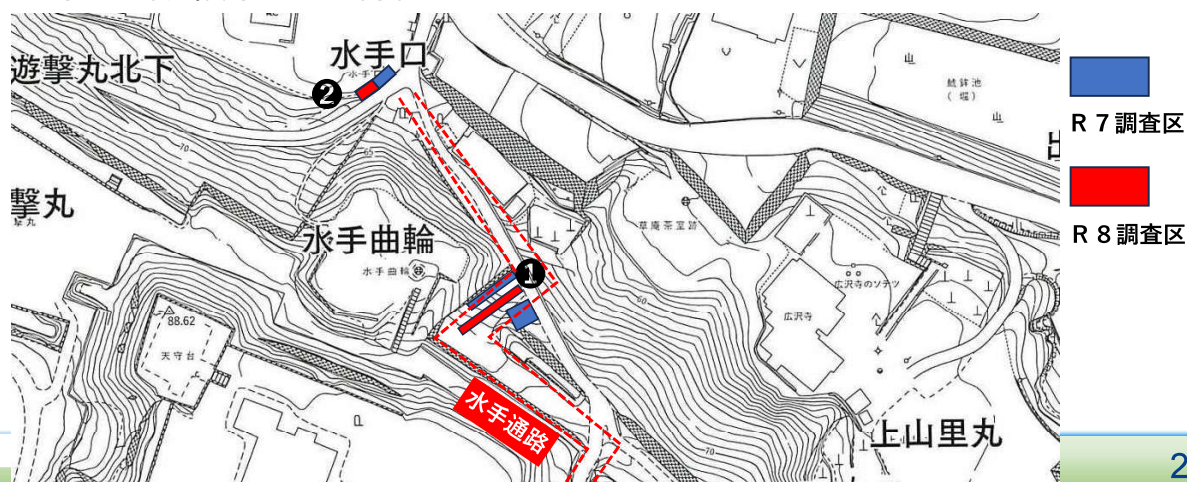
19

② 整備(水手口・水手通路 発掘調査) 令和7・8年度調査



① 名護屋城跡 水手通路発掘調査状況 (南東から)

② 名護屋城跡 水手口付近の発掘調査状況 (南から)



20

③ 発掘調査(弾正丸下)

令和7年度は①～⑤調査区で発掘を実施。

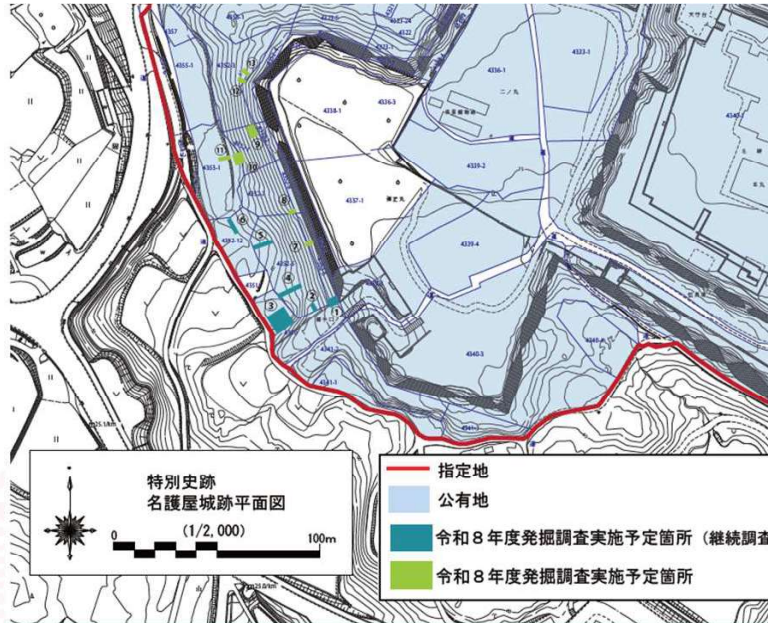
令和7年度調査にて③調査区から玉石敷遺構が検出。

令和8年度

玉石敷の範囲を確認するため調査区を拡張し調査中。拡張部でも玉石敷を確認。また、新規の調査区として弾正丸石垣縁辺部と弾正丸北側の石採場に調査区を設定予定。



弾正丸下 第499調査区【③】(北西から)

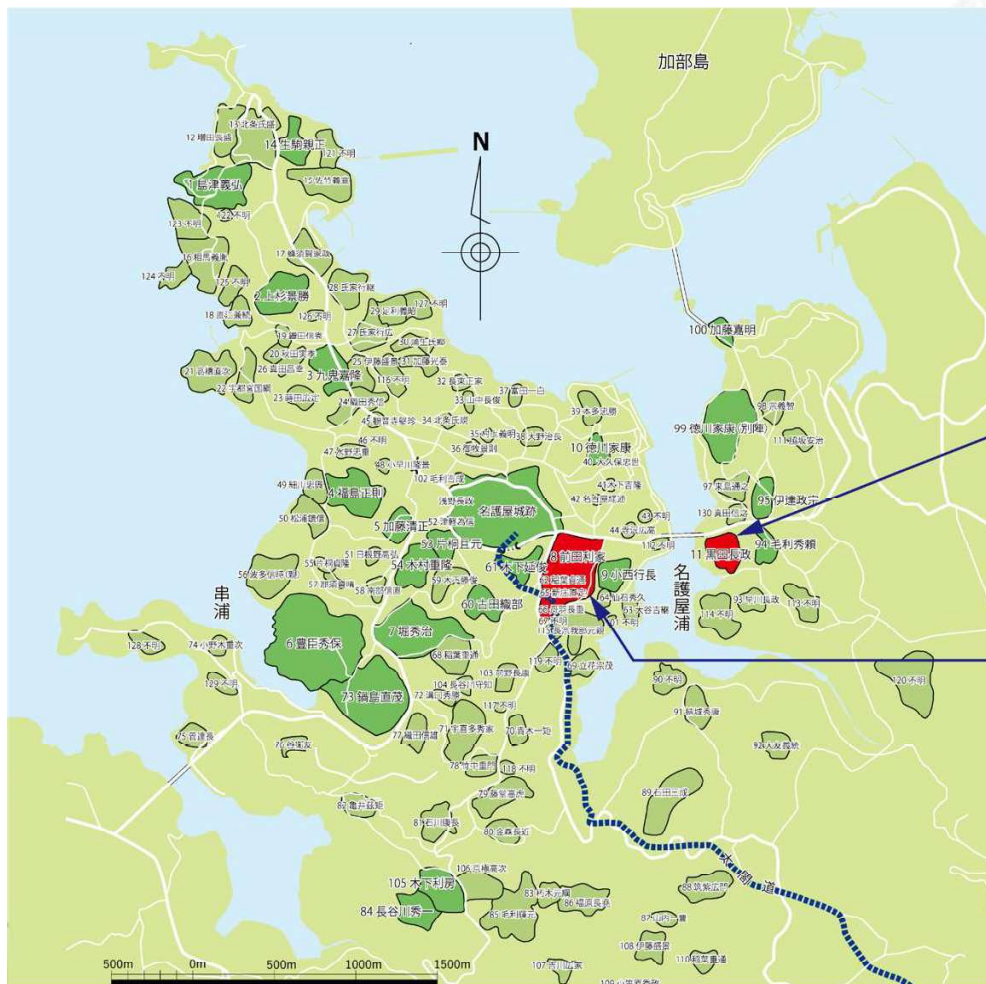


弾正丸下 新規調査区【⑦】(北西から)



弾正丸下 新規調査区【⑨】(北西から)

◎令和7・8年度 整備・発掘調査(陣跡)



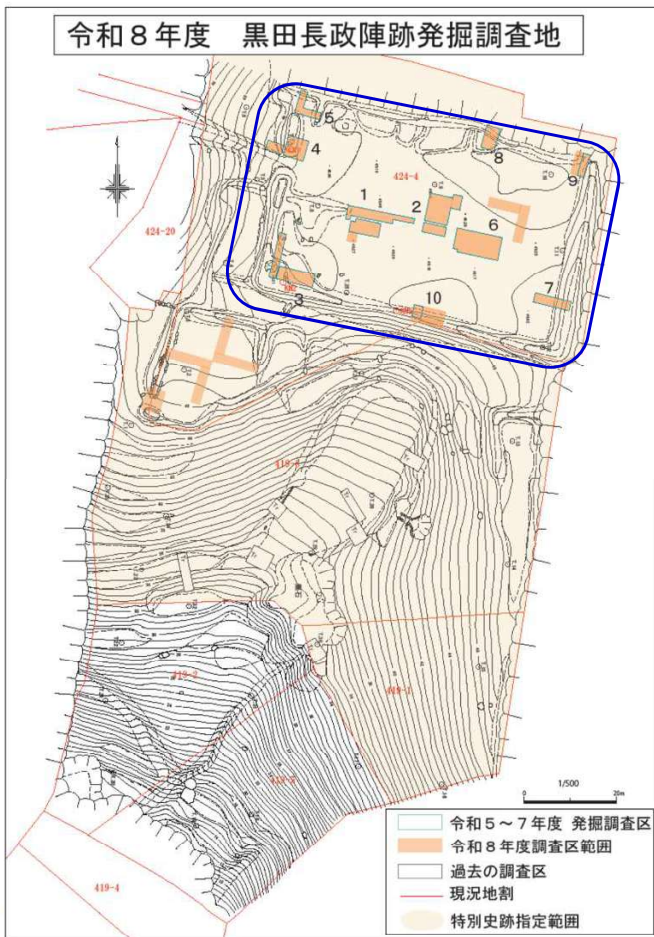
黒田長政陣跡 ①:発掘



前田利家陣跡 ②:発掘、③:整備



① 黒田長政陣跡(発掘調査 令和5～9年度)



【令和7年度】

令和7年度の発掘調査成果

令和7年度は、主郭部(青枠線内)の主郭部東側平坦部(6)と土塁縁辺部(8～10)に調査区を設定。
調査の結果、溝や柱穴などの遺構はみられなかったものの、土塁の造成状況などを確認することができた。また遺物としては、当該期やそれ以前の時期に属する中国産や朝鮮産陶磁器が出土。



発掘調査地6(北西から)



発掘調査地8(西から)



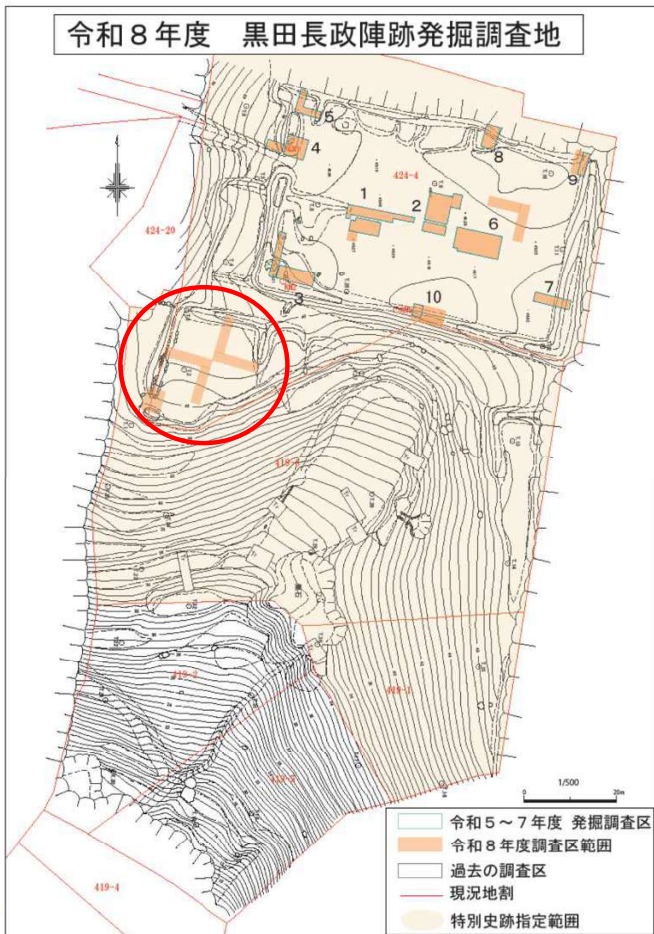
発掘調査地7(西から)



発掘調査地9(西から)

黒田長政陣跡(発掘調査 令和5～9年度)

令和8年度の発掘調査(計画)



【令和8年度】

令和8年度は、主郭部の一部の調査区で調査区を拡張するなどをして、調査を継続するとともに、新たに南西曲輪(赤枠線内)の調査を実施予定。



発掘調査予定地1(南から)



発掘調査予定地2(南西から)



発掘調査予定地3(東から)

② 前田利家陣跡(発掘 令和7～9年度)

【令和7・8年度】



調査区仮1
(上が東)



調査区仮2
(上が東)

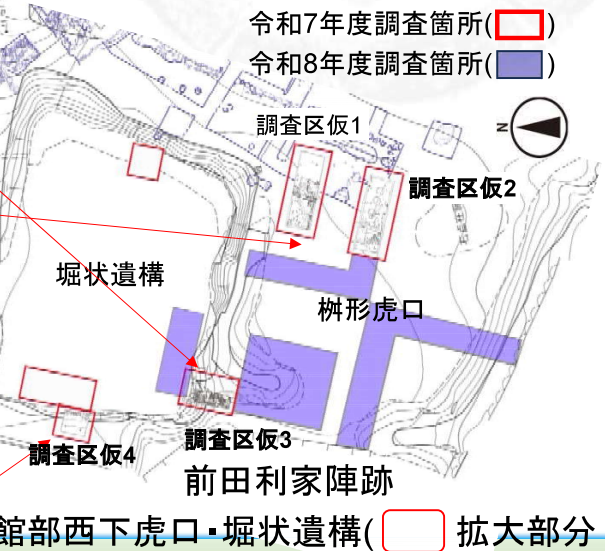


調査区仮3(上が北)



調査区仮4(上が東)

令和7年度
発掘調査箇所



居館部西下虎口・堀状遺構() 拡大部分

発掘調査の今後の予定

発掘調査期間:

2025～2027(今年度は2年目)

(※調査期間が延びる可能性有)

発掘調査後は、整備の基本
計画、実施設計を行う予定

③ 前田利家陣跡(整備 令和6～10年度)

【令和8年度】

○令和8年度は遺構整備に伴う盛土工事及び
庭園池の修景整備工事の実施を予定

○中心的な遺構である大型掘立柱建物跡の
遺構表示について修正設計が必要となった
ため、現在、検討作業を進めている。



掘立柱建物跡



池泉跡

